



加盟団体 各位
アルペン担当者 各位

公益財団法人全日本スキー連盟
競技本部長 成田 収平
アルペン部長 岩谷 高峰



平成 29 年度アルペン雫石スーパーGキャンプの開催について

日頃は本スキー連盟の強化事業に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。この度、ジュニア選手の競技力向上を目的にスピード系トレーニングキャンプを下記のとおり開催致します。国内では本格的なスピード系のトレーニングをする場所が少ない中、雫石スキー場のご協力をいただきスーパーGキャンプを実施いたしますので、貴連盟所属選手の多数の参加につきましてご高配いただきますようご案内申し上げます。つきましては、大変お手数をおかけしますが取りまとめの上、申し込みくださいますようお願い申し上げます。

記

- 1 期 日 平成 29 年 2 月 20 日 (月) ~ 2 月 21 日 (火)
- 2 会 場 岩手県岩手郡雫石町高倉温泉 雫石スキー場
〒020-0593 岩手県岩手郡雫石町高倉温泉 TEL : 019-693-1111
(花巻空港→(東北自動車道→国道 46 号線約 70 分)→雫石スキー場)
(盛岡 IC→(国道 46 号線約 30 分)→雫石スキー場)
- 3 目 的 ①本格的スピード系トレーニングを通じてユース・ジュニア選手のレベルアップを図り、世界に通じる選手育成を目指す。
②ユース・ジュニア・シニアに通じる一貫した指導方法を確立するために、技術の分析やコーチの意見交換を行い技術理論の統一を図る。
- 4 対 象 K-2 (中学 1 年生から高校 1 年生の早生まれ)
※高校生 (1 年生の早生まれを除く)、大学生、社会人の申込は受け付けませんのでご注意ください。
- 5 講 師 滝下 靖之 (ユース小委員会委員長)、佐藤 久哉 (同副委員長)、工藤 昌巳 (同副委員長)
山中 茂 (技術副委員長) 4 名

6 日 程

月 日	時 間	場 所	内 容
2/20 (月)	6 : 4 0	集合場所 シュプール	受付 コーチミーティング
	7 : 0 0	リフト乗車	
	8 : 3 0	ダウンヒルコース	トレーニング
	~		高速リフト→パラダイスリフト→サンシャイン
	1 4 : 3 0	スーパーG 講習会	(移動時間約 25 分)
1 5 : 3 0			
2/21 (火)	6 : 3 0	集合場所 シュプール	コーチミーティング
	7 : 0 0	リフト乗車	高速リフト→パラダイスリフト→サンシャイン
	8 : 0 0	ダウンヒルコース他	(移動時間約 25 分)
	~		SG コースセット&インスペクション
	1 3 : 0 0		SG トレーニング

※ トレーニングは段階を経て行われます。初日から参加することを原則とします。

- ※ スケジュールはあくまでも予定です。天候・コース状況によって変更します。
- ※ 悪天候のため練習内容が変更又はキャンセルになったとしても、日程の順延はありません。

- 7 申込み 別紙申込書・誓約書・参加料を取りまとめのうえ平成 29 年 2 月 10 日(金)必着で SAJ に
お申込みください。
※申込書類一式は各加盟団体の取りまとめとなりますので、参加希望者(選手・コーチ)
は余裕をもって各所属加盟団体への申込(郵送・送金)を行ってください。
現地での受付は一切しておりません。
- 8 承諾書 参加者は必ず保護者署名の別紙承諾書を提出してください。提出しない選手は参加を
認めませんのでご注意ください。
- 9 参加料 6,500 円
- 10 宿泊 宿泊については、各自手配をお願いいたします。
また、特別な事情がない限り、プリンスホテルをご利用いただくよう、お願いいたします。
料金等については、別紙をご参照下さい。
- 11 担当者 滝下 靖之(ユース小委員会委員長)
携帯：080-9618-0131、e-mail：takishita.yasuyuki@ivory.plala.or.jp
- 12 その他
 - ①各チームは必ずコーチが同行して下さい。選手のみ参加は受け付けません。
トレーニング中は参加チームコーチの方々のご協力をお願いいたします。
 - ②安全確保のため、極力キャンプ初日から参加してください。
 - ③練習中は必ずバックプロテクターを着用してください。
 - ④参加選手は必ず傷害保険に加入し、各県連で必ずご確認ください。加入していない場合は参加でき
ません。選手がトレーニング中に傷害を受けた場合は、応急処置は行いますがそれ以後の責任は負
いませのでご了承ください。
 - ⑤トレーニングは、安全性を十分に考慮するため、最初は、コースをいくつかに分けて部分的なトレ
ーニングから導入していきます。また、効率的にトレーニングを行うため、全体を 3 グループ程度
に編成し、大会コース以外でもゲートトレーニングを行うことがあります。なお、3 グループはロ
ーテーションしながら、トレーニングを行います。
 - ⑥コース状況・選手のコンディションにより滑走本数の増減があります。
 - ⑦コース状況により SG 又は GS スキーでのフリー滑走も行います。
 - ⑧選手のレベルに応じて部分トレーニングを増やす場合もあります。
 - ⑨状況に応じて練習場所を変更することがありますのでご了承ください。

以上